

「第 25 回戦争遺跡保存全国シンポジウム広島大会」要項

～旧軍都・被爆都市を経て、戦争遺跡保存の原点となった広島から、
戦争も核兵器も許さない世界の創造に向けた取り組みを深めよう～

期日：2022 年 8 月 20 日（土）・21 日（日）・22 日（月）

場所：広島市青少年センター 参加費：一般■ 1 日 1,000 円 学生以下・障がい者■ 1 日 500 円

主催：戦争遺跡保存全国ネットワーク

第 25 回戦争遺跡保存全国シンポジウム広島大会実行委員会

後援：（順不同）広島県 中国新聞社 旧被服支廠の保全を願う懇談会

広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会、加害の歴史から広島を考える会

（一般社団法人）ラジカルバナナ

広島実行委員会事務局連絡先 事務局長 多賀俊介（たが しゅんすけ）

〒733-0872 広島市西区古江東町 2 21-27 Tel:090-6432-5054・080-272-6464（FAX 兼）

Mail taga.s@do2.enjoy.ne.jp

【大会趣旨】

記念すべき第 25 回戦争遺跡保存全国シンポジウムを、被爆の地、広島で開催します。原爆ドームの世界遺産登録を目指す運動は、国史跡の指定基準の改正につながり、明治以降の戦争遺跡について国の史跡・文化財登録への道を開きました。また原爆ドームを含む多くの被爆建物の保存は、市民の声や運動があってこそ実現したものです。その意味で、広島は日本における戦争遺跡保存運動の一つの原点といえます。

広島は「被爆」に焦点が強くあたる反面、日清戦争を契機として軍都として大きく発展した地でもあり、広島市が被爆建物として指定し保存支援している建物の中にも、軍都広島時代の軍事施設が含まれています。このことに改めて注目が集まったのは 2019 年、巨大な被爆建物である旧陸軍被服支廠倉庫 3 棟（全 4 棟で、もう 1 棟は国が所有。いずれも 1913 年建造）について、安全対策を主な理由に 1 棟保存 2 棟解体の方針を出したのがきっかけです。被爆者や戦争遺跡保存全国ネットをはじめ全国の市民から解体反対の声が寄せられた結果、県は方針の再検討を始め、3 棟の重要文化財指定検討や利活用を考える市民の取り組みも始まっています。

一方、2021 年にサッカー場建設予定地とされた中央公園（広島城の西）で、旧陸軍輜重隊補充隊の広大な被爆遺構が発掘中であることが明らかになり、保存要望の声が高まりましたが、市は「被爆の痕跡が明瞭でない」として「一部を切り取って保存」するに留め、埋め戻し、スタジアム建設工事を始める結果となりました。他方、広島市は平和記念公園で地下に埋もれていた民家の被爆遺構を、2022 年春に「被爆遺構展示館」として開館しており、行政による初の被爆遺構保存展示事業として注目されます。このように、被爆建物以外の埋蔵文化財としての被爆遺構について、保存に関する市の明確な方針は定まっていない状況です。シンポジウム参加の皆さんからの多くのご意見を期待します。さらに戦争遺跡を広く捉えるなら、広島に流れ込む太田川上流にある、朝鮮人や強制連行された中国人が建設に投入されたダムなどの施設もあります。戦争の悲惨さと愚かさを広島でしっかりと再認識して頂き、戦争遺跡を平和の砦として保存・活用するという視点をさらに研ぎ澄ましてほしいと願い、広島の地で皆さんをお迎えできることを楽しみにお待ちしております。

【大会日程と主な内容】

8月20日(土) 全体会・講演会 広島市青少年センターホール

全体会 13:00～ ■受付 12:00～

開会挨拶

記念講演 「ヒロシマの願いを世界へー平和行政の歩みー」

元広島市国際平和担当理事(兼平和記念資料館館長) 原田 浩 氏

基調報告 戦争遺跡保存全国ネットワーク運営委員 菊池 実 氏

地域報告 広島大学名誉教授 藤野 次史氏

広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会 多賀 俊介氏

全国ネット会員総会 16:10～17:00

8月21日(日) 分科会 広島市青少年センター会議室ほか

分科会 9:00～15:00

第1分科会:「保存運動の現状と課題」(第一集会室)

第2分科会:「調査の方法と整備技術」(第一講義室)

第3分科会:「平和博物館と次世代への継承」(第三集会室)

図書交換会:第一会議室 ※10:00～14:00

閉会集会 15:10～16:00

8月22日(月) 現地見学会 ※別途事前申込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

A. 広島市内軍都・被爆遺跡巡りコース

・旅行代金:2,200円 ・募集人員:40名 ・最少催行人員:25名

(参加者数が最少催行人員を下回ることとなった場合は実施しません。)

・お客様ご集合場所:広島駅新幹線口(北口)2階 ペDESTリアンデッキの中央部分
スタッフが参加受付をいたします。

・お客様ご集合時刻:午前8時40分(時間厳守) ・貸切バス出発予定時刻:午前9時

※注意/広島県庁付近で貸切バス利用は終了です。大きな手荷物は広島駅等に預けてご出発ください。

月日	日	程
8/22 (月)	9:00 広島駅新幹線口広場バス乗降場 10:30頃 ===== 広島県庁北側道路 ※その後、徒歩にて広島城周辺を巡ります。コース終了時刻は12時半ころを予定	9:15頃～10:00頃 旧広島陸軍被服支廠 (=== 貸切バス)

B. 呉の軍都遺跡、地下壕巡りコース

・旅行代金:4,700円 ・募集人員:40名 ・最少催行人員:20名

(参加者数が最少催行人員を下回ることとなった場合は実施しません。)

・お客様ご集合場所:広島駅新幹線口(北口)2階 ペDESTリアンデッキの中央部分(参加受付をします)

・お客様ご集合時刻:午前8時10分(時間厳守) ・貸切バス出発予定時刻:午前8時30分

※注意事項/このコースのそれぞれの見学地には専用のバス駐車場はなく、全て路線バスのバス停等を利用して乗降します。そのため、付近通行に支障が生じないように迅速な乗降と再集合時刻の徹底、通行の安全にご協力ください。

地下壕内地下工場跡の見学が可能ないように調整中です。可能な場合、懐中電灯・ヘルメットが必要になります。事前にお問い合わせください。

大和ミュージアムに行かれる方は呉駅で下車し各自で見学をお願いします。

月日	日	程
8/22 (月)		(=== 貸切バス) 8:30 広島駅新幹線口広場バス乗降場 === 宇品 IC ===「広島呉道路」 9:40 頃~10:20 頃 === 呉 IC ===呉長浜地区 地下工場見学(予定)=== (呉越峠) == 10:40 頃~11:20 頃 11:30 頃~12:10 頃 長迫公園・旧呉海軍墓地===呉空襲犠牲者供養地蔵(和庄児童公園)、防空壕跡等 12:25 頃~13:00 頃 13:10 頃 === 歴史の見える丘 === 呉駅付近(下車可能) === 呉 IC == 14:00 頃 ==「広島呉道路」=== 仁保 IC===広島駅新幹線口広場バス乗降場

C. 太田川上流の朝鮮人労働、強制連行中国人労働によるダム建設と補償・和解の取り組みを学ぶコース

・旅行代金:4,700 円 ・募集人員:18 名 ・最少催行人員:16 名
 (参加者数が最少催行人員を下回ることとなった場合は実施しません。)

・お客様ご集合場所:広島駅新幹線口(北口)2階 ペDESTリアンデッキの中央部分
 スタッフが参加受付をいたします。

・お客様ご集合時刻:午前 8 時 10 分(時間厳守) ・貸切バス出発予定時刻:午前 8 時 30 分

※注意事項/このコースのそれぞれの見学地には専用のバス駐車場はなく、全て一般路上で乗降します。
 付近通行に支障が生じないように迅速な乗降と再集合時刻の徹底、通行の安全にご協力ください。

月日	日	程
8/22 (月)		(=== 貸切バス) 8:30 広島駅新幹線口広場バス乗降場 === 広島 IC ===「山陽・中国自動車道」 9:50 頃~10:40 頃 === 加計 BS スマート IC ===王泊ダムと朝鮮人ダム事故犠牲者名のある慰霊碑 11:10 頃~12:20 頃 === 中国電力安野発電所・安野中国人受難之碑 === (久地)===「広島高速 4 号」 13:30 頃 === 広島駅新幹線口広場バス乗降場

D. 平和記念公園と周辺の被爆遺跡・碑を巡るコース

・旅行代金:500 円 (資料代)

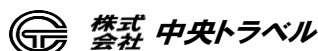
・お客様ご集合場所:広島市青少年センター前(スタッフが参加受付をいたします。)

・お客様ご集合時刻:午前 9 時 00 分(時間厳守)

※注意事項/平和記念公園を中心に、徒歩で約2時間の行程を予定しています。

《取扱窓口》

(株)中央トラベル代理業 スタディツアー広島
 【広島県知事登録旅行業者代理業第 77 号】
 〒733-0872 広島市西区古江東町 21-27
 Tel・Fax (082)272-6464
 国内旅行業務取扱管理者 多賀俊介



広島県知事登録旅行業第 2-157 号
 一般社団法人全国旅行業協会正会員
 〒732-0811 広島市南区段原 3-23-10
 Tel (082)236-1200
 Fax (082)236-1201